

2026 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 Strawberry jams 株式会社
代表者名 代表取締役社長 出ッ古 直美
(コード番号 5584 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役管理本部長 小平 紗恵子
T E L 03-6416-4391
U R L <https://strawberryjams.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場目的の開示

当社グループは、株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場しており、TOKYO PRO Market 上場の目的並びに上場目的の実現に向けた追加情報を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market 上場の目的

当社グループは、知名度及び信頼性の向上、収益基盤の拡充及び内部管理体制の強化を目的として 2023 年 7 月 12 日に TOKYO PRO Market へ上場いたしました。

当社グループが TOKYO PRO Market への上場において掲げてきた主な目的は以下の通りとなります。

(1) 知名度及び信頼性の向上

当社グループが属する基幹システム領域には多数の事業者が存在しており、サービス内容のみによる差別化が容易ではない市場環境にあります。当社グループは、TOKYO PRO Market への上場を通じて、客観的に評価された上場企業としての社会的信用を獲得し、当社グループの知名度及び信頼性の向上を図ることができたと判断しております。

(2) 収益基盤の拡充

当社グループは、知名度及び信頼性の向上を通じて、取引先、金融機関、株主、投資家その他のステークホルダーからの信頼感を高め、既存サービスの拡大及び既存サービスの横展開に着手いたしました。

(3) 内部管理体制の強化

当社グループは、上場企業として求められるコーポレート・ガバナンス、内部管理体制、適時開示体制及び IR 体制を整備・運用し、経営の透明性及び信頼性を高めることを目的として、TOKYO PRO Market 上場制度を積極的に活用してまいりました。

2. 追加的な情報開示

(1) 中長期的な成長目標・成長戦略

当社グループの顧客が多く所属するファッション業界では、堅調なインバウンド需要や消費者購買意欲の回復に伴い、消費活動が改善傾向にあります。特に、インターネット販売の活況や、多様な販売チャネルを駆使したアプローチが業界全体の回復を後押ししております。

一方で、依然として労働力不足や原材料価格・物流費・人件費の高騰といった課題が残っており、業界全体としては慎重な対応が求められる状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、TOKYO PRO Market 上場企業としての信頼性を基にお客様の利益構造そのものを改善するコンサルティング力を強みとし、基幹クラウドサービス「ICHIGO CLOUD」の販売を積極的に推進することで、お客様の収益向上や業務効率化に資する支援をしてまいります。

さらに、収益基盤の拡充としては、当社グループはこうしたファッション業界での事業基盤をより一層強固なものとしながら、その先の成長ステージとして他業種への横展開の深耕を推進してまいります。当社グループは創業以来、多業種にわたる業務支援を通じて培ってきた知見・ノウハウ・実績を有しており、この他業種への展開は、そうした当社グループの強みを新たな成長領域へと広げる取り組みにほかなりません。

当社グループの基幹クラウドサービス「ICHIGO CLOUD」は、商品管理・在庫管理・受発注管理という業種を問わず共通する業務課題を解決する仕組みとして開発・進化してきたものであり、幅広い業種に対して高い親和性を有しております。この他業種への横展開の深耕による市場拡大の余地は極めて大きいと確信しております。

今後の課題としましては、他市場への移行を念頭に更なる内部管理体制の強化に取り組んでまいります。また、広告宣伝活動を強化し、他業種への認知拡大と顧客獲得を加速させることにより、幅広い業種のお客様へのアプローチを本格化し、現在のファッション業界に限定された顧客基盤が飛躍的に拡大し、ストック型収益である基幹クラウドサービスの月額利用料収入が累積的に積み上がることで、業績の大幅な伸長を図ってまいります。

当社グループの資本政策としては資金調達による広告宣伝活動を推進し、積極的な顧客へのアプローチによる事業拡大により、ファッション業界のリーディングカンパニーから、複数業種にまたがる総合的な基幹クラウドサービスプロバイダーへと進化し、2027年12月期、2028年12月期は各々経常利益で2億円、4億円といった成長イメージを掲げ、企業価値の飛躍的な向上を目指してまいります。なお、ファッション業界での導入実績を通じて蓄積されたノウハウを基盤に、他業種からの引き合いも生まれており、既存プロダクトの横展開による効率的な成長が可能であることが、この目標の現実的な裏付けとなっております。

(2) TOKYO PRO Marketから他市場への移行について

当社グループは、更なる成長資金の調達及び社会的信用力の向上を実現するため、東京証券取引所一般市場へのステップアップ上場を目指しております。

(3)目指している一般市場について

当社グループは、高い成長可能性を実現するための更なる業績の向上を目指した経営を行っており、東京証券取引所グロース市場のコンセプトに合致していることから、当該市場へのステップアップ上場を目指しております。

(4)上場スケジュールについて

当社グループは、今後一般市場への上場に向けて、上場企業としてのコーポレート・ガバナンス及び内部管理体制の更なる強化、適時適切な情報開示及び IR体制の充実並びに経営基盤の継続的な強化に取り組んでまいります。

また、上述のとおり他業種にも横展開を図るために資金調達が必須となっており、業績の進捗状況や株式市場の状況にもよりますが、フィリップ証券株式会社を主幹事証券として2027年から2028年内の一般市場へのステップアップ上場を目指してまいります。

【免責事項】

本資料に記載された内容及びスケジュールは、現時点での予定に基づくものであり、当社グループの今後について確約するものではないことをあらかじめご了承ください。

以 上